２０２４年度第６回町田市子ども・子育て会議

議事要旨

【開催概要】

日時：２０２５年2月１３日（木）１８：００～１９：５０

会場：市庁舎１０階　会議室１０－２～５

【議事次第】

１　開会

２　事務連絡

３　議題

（１）「育成料のあり方検討部会」の報告について（資料１）

（２）「町田市子どもマスタープラン２５－３４」（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について（資料２～４）

（３）「町田市子どもマスタープラン２５－３４」答申書（案）の最終確認・承認について（資料５～８）

４ 報告

（１）保育料のあり方に係る検討について（資料９）

（２）コドマチフェスティバル「まちだコドマチ条例パネル展」の実施結果について（資料１０）

（３）認可保育所の利用定員の変更について（資料１１）

（４）２０２５年４月認可保育所等への入所申込み等の状況（１次選考）について（資料１２）

（５）学童保育クラブ２０２５年度入会の申請状況について（資料１３）

（６）２０２５年度町田市子ども・子育て会議年間スケジュールについて（資料１４）

５　その他

６　閉会

【配布資料】

資料１　町田市学童保育クラブ育成料（利用料）のあり方検討報告書（答申案）

資料２　「町田市子どもマスタープラン２５－３４」（素案）
パブリックコメント実施結果の概要について

資料３　「町田市子どもマスタープラン２５－３４」（素案）
パブリックコメントに対するご意見の概要と市の考え方について

資料４　「（仮称）町田市子どもマスタープラン２５－３４」のための
ヒアリング（コドマチヒアリング等）のフィードバックの実施について

資料５　町田市子どもマスタープラン２５－４５（答申案）
【第６回町田市子ども・子育て会議（２０２５年２月１３日）時点】

資料６　「町田市子どもマスタープラン２５－３４」（案）前回【第４回町田市子ども・子育て会議（２０２４年１０月１７日）時点】からの主な変更点一覧

資料７　町田市子どもマスタープラン２５－３４【概要版】
【第６回町田市子ども・子育て会議（２０２５年２月１３日）時点】

資料８　町田市子どもマスタープラン２５－３４【子ども向け概要版】
【第６回町田市子ども・子育て会議（２０２５年２月１３日）時点】

資料９　保育料のあり方に係る検討について

資料１０　コドマチフェスティバル「まちだコドマチ条例パネル展」の実施結果について

資料１１　認可保育所の利用定員の変更について

資料１２　２０２５年４月認可保育所等への入所申込み等の状況（１次選考）について

資料１３　学童保育クラブ２０２５年度入会の申請状況について

資料１４　２０２５年度 町田市子ども・子育て会議 年間スケジュール

２０２４年度第６回町田市子ども・子育て会議　委員出席者

子ども・子育て会議　委員

氏　　名	所　　属	出 欠
◎鈴木　美枝子	玉川大学	出
○菅野　幸恵	青山学院大学	出
下尾　直子	洗足こども短期大学	出
駒津　彩果	東京三弁護士会多摩支部	欠
矢口　政仁	町田市私立幼稚園協会	出
関野　鎮雄	町田市法人立保育園協会	出
叶内　昌志	町田市社会福祉協議会	出
畠中　勝美	町田市立小学校校長会	出
杉浦　元一	町田市立中学校校長会	出
旭岡　善介	東京都立町田の丘学園	出
朝倉　寛喜	町田市民生委員児童委員協議会	出
大久保　麻衣子	町田市立中学校ＰＴＡ連合会	出
村野　明子	町田市医師会	出
松井　大輔	町田商工会議所	欠
井上　善史	市民	出
蓮池　真穂	市民	出
渡邉　蔵之介	市民	出
安藤　朝美	町田市青少年委員の会	出
酒井　恵子	町田市障がい児・者を守る会すみれ会	出

◎会長　○副会長

備考：傍聴者（７名）

２０２４年度第６回町田市子ども・子育て会議　事務局出席者

氏　　名	所　　属
鈴木　亘	子ども生活部部長
大坪　直之	子ども生活部子ども総務課長
菊地　仁幸	子ども生活部児童青少年課長
小林　慶美	子ども生活部児童青少年課担当課長
三浦　啓史	子ども生活部保育・幼稚園課長
河手　貴史	子ども生活部保育・幼稚園課担当課長
香月　勇人	子ども生活部子育て推進課長
堀　秀彰	子ども生活部子ども家庭支援課長
江成　裕司	子ども生活部子ども発達支援課長
遠藤　聡人	子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長
栗原　康二	地域福祉部障がい福祉課長
末原　久志	学校教育部指導課担当課長

子ども総務課事務局：奥　雅文、深井　健央、尾島　早紀

【議事内容】

１　開会

子ども総務課企画総務係長：ただいまから２０２４年度　第６回　町田市子ども・子育て会議を開会いたします。私は、子ども総務課企画総務係長の奥と申します。議題に入る前まで、司会進行を務めさせていただきます。

議事に入る前に、会議欠席、遅刻のご連絡をお伝えいたします。本日は駒津委員から欠席との連絡が入っております（松井委員欠席）。本日は半数以上の委員の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。事務局からは、指導室長兼指導課長の大山に代わりまして、指導課の担当課長末原が代理で出席をさせていただきます。また、保健予防課母子保健担当課長の山形が欠席、障がい福祉課長の栗原は遅れて参加いたします。議題等の関係上、児童青少年課の担当課長小林と、保育・幼稚園課担当課長の川手が、事務局として参加させていただきます。そして、会議の運営支援として、株式会社創建が参加いたします。議事要旨作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。本日の会議の進行ですが、２時間程度を目安に進行していきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

２　事務連絡

子ども総務課企画総務係長：会議の公開についてですが、本日は６名の方が傍聴を希望されております（後ほど１名追加）。特にご意見がなければ、公開するということでよろしいでしょうか。

一同：（異議なし）

子ども総務課企画総務係長：それでは傍聴人の方の入室をお願いいたします。傍聴の方が入室されましたので、会議を進めさせていただきます。

続きまして、本日配付している資料の確認をいたします。お手元の資料をご覧ください。

■資料の確認

〔資料１～１４の確認〕

子ども総務課企画総務係長：議題に入る前に、事務局から会議の運営について、改め

てお伝えさせていただきます。発言をする際には、まず挙手をしていただいて、会長に指名されてから発言をお願いいたします。議事要旨の作成のため、発言の前には、所属は結構ですので、ご自身のお名前を述べていただいてから発言をお願いいたします。また、質問の際には、皆様からのご意見にしっかりとお答えをしたいと思いますので、１回の発言につき、１件の質問でお願いいたします。

それでは、ここからの進行につきましては、鈴木会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

３　議題

（１）「育成料のあり方検討部会」の報告について

鈴木会長：皆さん、こんばんは。早いもので、今年度最後の子ども・子育て会議となりました。

それでは早速議題に入りたいと思います。まず、「育成料のあり方検討部会」の報告についてです。最後の検討部会である第４回検討部会を２月５日に開催しましたので、それに関する報告となります。菅野副会長から、育成料のあり方検討部会の部会長として、説明をお願いします。

〔資料１の説明〕

鈴木会長：ご質問やご意見はございますか。大丈夫そうでしょうか。それでは、育成料のあり方検討報告書（案）について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

一同：（意義なし）

鈴木会長：ありがとうございます。細かい修正等については、会長および事務局に一任いただくということでよろしいでしょうか。

一同：（意義なし）

鈴木会長：ありがとうございます。

（２）「町田市子どもマスタープラン２５－３４」（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について（資料２～４）

鈴木会長：続きまして、「町田市子どもマスタープラン２５－３４」（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について、事務局から説明をお願いします。

〔資料２～４の説明〕

旭岡委員：資料３の１３ページ、Ｎｏ６５について、学童保育クラブは、かなり狭いところに多くの定員が入っている状況があり、質的な向上がすごく望まれているように感じております。ご意見にもある「学童保育クラブでは、自然に触れる経験・チャレンジなどができるような、特徴的な取り組みを進めてほしい」といった新しい取組が広がっていくと、保育料だけではなくて、満足度が高くなるのではないかと思っておりますので、この辺りを織り込んでいただければと思います。

児童青少年課長：今は学童保育の中でも、例えば遠足のような形で近くの大きな公園に行く機会も設けております。また、学童保育クラブ同士の施設管理者が集まる会議体の中で、お互いがやっていることを共有し合う場なども設けておりますので、今後どのようにやっていくと良いのかは、ご意見を参考にしていきたいと思います。

菅野副会長：資料３の１９ページ、Ｎｏ９４の回答では、「小・中学校での自転車教室を実施し、ルールやマナーを学べるよう取り組んでいきます」とありますが、具体的に取組が書いてあるものは、そういう予定があると理解してよろしいでしょうか。これから取り組んでいくように読めたので、もう既にやっているならば、そう見えるように書いた方が良いのではと思いました。

子ども総務課長：小・中学校の自転車教室や安全教室は現在も行っておりますので、そういったことでの回答と認識しております。改めて事業課に確認して、表現方法は確認いたします。

鈴木会長：今日のご意見をお聞きした上で「市の考え方」の記述が多少なりとも変わる可能性というのはあるのでしょうか。

子ども総務課長：いただいたご意見が現実に即していてそちらの方が正しいというものであれば、修正することはありますが、基本的には「市の考え方」としてお示ししておりますので、考え方の説明をさせていただければと思っております。

鈴木会長：資料３の１７ページ、Ｎｏ８２・８３に食育のことが書かれていますが、これも実際に今やっていることで、新たなものではないのでしょうか。町田市は食育にも既に力を入れているかと思いますので、どの辺りが予定なのかを知りたいと思います。

子ども総務課長：記述を見る限りこれからの話だとは思いますが、こちらについても記載の仕方が実態に合っているかを確認させていただきます。

井上委員：資料２に「寄せられた意見の件数・内訳」がありますが、４６名の年齢や性別など属性はわかるでしょうか。

子ども総務課長:パブリックコメントでは年齢や性別などの属性は取っておりませんので、その分布はわかりません。

鈴木会長：パブリックコメントでは、任意で属性を取る方法もあると思います。取った方がどういう属性の方のご意見なのかがわかると思います。

子ども総務課長：属性を取って調査することが目的のアンケートであれば、そういったことも行いますが、パブリックコメントは施策に対するご意見をいただいて、市の考え方を示すというものであるため、属性は取らないのが通常のやり方でございます。

井上委員：資料２・３について、「会議終了後、回収いたします」とありますが、これはいただいた意見は公表せずに、内部の検討のみに活用するということでしょうか。

子ども総務課長：公表を予定しておりますが、今回の資料は最終的な取りまとめをして公表する前のものですので、本日は一旦回収させていただくこととしております。

旭岡委員：資料３の８ページ　Ｎｏ４０について、「すべての中学校に２人配置となるよう、市独自のスクールカウンセラーを追加配置しています」とありますが、時間数を増やして対応するということでしょうか。また、市ではどれくらい補っているのでしょうか。

指導課担当課長：日数を増やしているイメージですが、比率までは分かりかねますので、担当課に改めて確認させていただきたいと思います。

鈴木会長：前回の子ども・子育て会議の中でも、スクールカウンセラーの配置のあり方について、ご意見があったかと思いますので、ぜひそういったところも踏まえて、今後対策していただけたらと思います。

杉浦委員：資料３の２０ページ、Ｎｏ１００の調理実習について、学習指導要領上でいくと例示はされていますが、必ずやらなくてはいけない項目ではない気がします。やっていない学校もあるのではないかと思いますが、この辺りいかがでしょうか。

指導課担当課長：おっしゃられているとおり、全ての学校ではないかと思いますが、例示として載っている部分ですので、多くの学校では実施しているという状況でございます。市の取組の中で「朝食レシピコンテスト」というところもありますので、そういったところでの推進等も考えていきたいと思っております。

杉浦委員：教育課程の編成は学校がしますが、市の考え方として、調理実習は全校でやるものだというように学校に要求されていると捉えて良いのでしょうか。

子ども総務課長：どのような状況なのかについては、改めて記載の内容を確認したいと思います。

（３）「町田市子どもマスタープラン２５－３４」答申書（案）の最終確認・承認について（資料５～８）

鈴木会長：続きまして、「町田市子どもマスタープラン２５－３４」答申書（案）の最終確認・承認について、事務局から説明をお願いします。

〔資料５～８の説明〕

旭岡委員：資料５の１２ページの注釈について、「児童養護施設等」の「等」で何か想定されているところがございましたら、教えていただきたいです。

子ども総務課長：家庭の代わりに養育するというところで「児童養護施設等」と入れていますが、里親なども該当するかと考えております。

旭岡委員：里親は家庭というよりも、こちらの「など」に該当するということでしょうか。「児童養護施設等」の「等」で何か想定される形態があれば、整理しておくと良いのではと思いました。

子ども総務課長：里親は家庭に含まれると考えております。整理につきましては、参考にさせていただきます。

鈴木会長：私の認識としては、乳児院など児童福祉施設等が入るのではないかと思いましたとしては、乳児院など児童福祉施設等が入るのではないかと思いました。

蓮池委員：資料５の１３９ページ、「４　計画の進行状況の公表」について、市のホームページでの公表は今までもされていたのでしょうか。また、具体的にどのような方法で公開するのか、市のホームページ以外の周知や取組は考えているのかを教えていただきたいです。

子ども総務課長：現行計画についても、子ども・子育て会議で進捗報告をさせていただい

た内容は、子ども・子育て会議の記録として、ホームページに資料を公開しております。ホームページの公開方法やホームページ以外の周知については、効果的なやり方も含めて検討していきたいと考えております。

蓮池委員：「町田市子どもマスタープラン」が１０年間の長期のものなので、おそらく中間振り返りがあるかと思いますが、そういったものはあるでしょうか。

子ども総務課長：「町田市子どもマスタープラン」は１０年間の基本計画ですが、その中に５年ごとの行動計画が含まれており、５年ごとに施策について見直しをする機会がございます。また、５年間の中でも施策の中で必要なものがあれば、中間見直しを行う場合もございます。

蓮池委員：１０年間の間に、子育てや子どもの状況も大きく変わると思いますので、施策レベルでの見直し以外にも、今回行ったヒアリングやアンケートと同様、もしくはさらに工夫した形で色々な意見を聴いて取り入れていただけたら良いのではないかと思いました。パブリックコメントのご意見にもあったように、学童保育クラブの先生方や冒険遊び場で関わっているプレーリーダーの方、児童館の職員の方など、日々子どもとやり取りされているような大人から直接意見を聴く場があっても良いと思いましたので、ご検討いただけたらと思います。

子ども総務課長：意見の聴き方などは参考にさせていただきたいと思います。また、計画の期間については、資料５の１２ページにも載っております。１０年の基本計画は理念的なものでもありますので、実施する内容については、５年ごとの前期行動計画や後期行動計画で行っていきたいと考えております。

下尾委員：資料６の１ページ、【全体版　内容】項番６について、「みんなの声」を読ませていただきましたが、取組に十分に反映できているものもあると思いました。

また、パブリックコメントの実施結果をご覧になった方々がせっかく自分の書いた意見に対する市の考え方が「参考にさせていただきます」「ありがとうございました」で終わってしまっていると、ちょっと残念な気持ちになる気がしたので、できるのであれば、「みんなの声」に書かれていると良いのではと思いました。そうであれば、「採用してもらえた」と納得していただけるでしょうし、また次につながっていくのではと思います。パブリックコメントやアンケートは、双方向の反応が大事だと思いますので、今からこれを書き直してもらうのは相当大変な作業だとは思いますが、私としてはそのように感じました。

子ども総務課長：計画を作るにあたっては、ご意見をいただくために色々と工夫をし、ヒアリングのフィードバックを今回行ったように、意見を出してくれた方に返すことも大事だと考えております。しかし、計画冊子にパブリックコメントでのご意見を掲載するというのは、作った計画に対していただいた意見をまた載せることになってしまうので、それはなかなか難しいと考えております。なるべく丁寧に「市の考え方」で回答するようにはしておりますが、パブリックコメントで求めている範囲なども勘案して、こういった区分けで回答をしております。この辺りはいただいたご意見なども参考に、今後考えてまいりたいと思います。

井上委員：「町田市子どもマスタープラン」子ども向け概要版について、ホームページに過去のものの掲載はあるでしょうか。

また、資料８の子ども向け概要版は、もう少し文章をかみ砕いて、目指す方向をわかりやすくしてあげられたら良いのではと思いました。対象が色々あるから難しいとは思いますが、子どもにとってメリットがあることを教えてあげられると良いと思いました。

子ども総務課長：子ども向け概要版は、現行計画にはなく、「町田市子どもマスタープラン２５－３４」で新たに作成したものでございます。

計画なので、「町田市子どもにやさしいまち条例」よりも内容が難しい部分もありますが、あまり簡単にしすぎると計画そのものが伝えられなくなってしまうことを懸念しております。その辺のバランスを取りながら作ってきましたが、今後も色々工夫をしていきたいと思います。

鈴木会長：資料７の概要版について、２ページに「家庭」という言葉は出てきていますが、注釈がありません。「児童養護施設等」という追記は載せないのでしょうか。児童養護施設に実際に住んでいる子どもたちに聞かないとわからないことですが、自分たちも含まれているというメッセージが伝わると良いと思いますので、ご検討いただけたらと思います。

子ども総務課長：概要版にも載せられるか、検討してみます。

鈴木会長： 資料５の１３９ページ「３　推進体制」について、「各部署の共通認識」は、今後推進していく上でより組織横断的に解決に向けていくために、非常に重要だと思いますが、「（仮称）子ども・子育て庁内推進会議」を２０２５年度に向けて立ち上げていくということでしょうか。

子ども総務課長：「（仮称）子ども・子育て庁内推進会議」は、２０２５年度中に作る予定です。特に「町田市子どもにやさしいまち条例」制定以降は、あらゆる事業を子どもの視点を持って行うことが庁内でもかなり徹底されており、共通した考えを持って行ってはいますが、より体系的に組織としてやってくことを考えております。

蓮池委員：資料５の９９ページ、コラム１０「地域におけるネットワーク」について、市だけではなくて、民間や地域の色々な団体が協力し合うというスタンスがすごく大事だと改めて思いました。先ほどの庁内連携に加えて、実際に子どもたちと普段関わっている団体と市の担当者が理解を深め合うような場が継続的にあると、より良いのではないかと思いました。また、冒険遊び場や子ども食堂などの現場を見に行っていただき、どんな人がどんな顔をして使っているのかというところもぜひ見ていただけたらと思います。

子ども総務課長：次期計画の基本方針３でも、地域は１つの項目としていますので、そういった取組を行っている団体とも協働して、事業を進めてまいりたいと考えております。参考にさせていただきます。

菅野副会長：資料５の１３５ページ、「２（１）計画の評価」は、推進を進めていく上でとても大事だと思っています。評価する主体は誰なのかを教えていただきたいです。また、今日の報告事項である「２０２５年度　町田市子ども・子育て会議　年間スケジュール」の中に、計画の評価方法がありましたが、２０２５年度にどうやって評価していくかと具体的なところは、この会議単位で考えていくという理解でよろしいでしょうか。

子ども総務課長：現在、子ども・子育て会議で報告しているものをベースに、計画の各取組を行っている部署が評価を行い、全体の評価を事務局でまとめていくという形になります。子ども・子育て会議でご意見をいただいたものを元に、「（仮称）子ども・子育て庁内推進会議」で次からどうしていくのかを検討していくサイクルになると考えております。

鈴木会長：他は大丈夫でしょうか。それでは、「町田市子どもマスタープラン２５－３４」答申書（案）について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

一同：（意義なし）

鈴木会長：ありがとうございます。細かい修正等については、会長および事務局に一任いただくということでよろしいでしょうか。

一同：（意義なし）

鈴木会長：ありがとうございます。

４　報告

鈴木会長：今回は６件の報告があります。質疑は全ての報告が終わった後に時間を取りますので、よろしくお願いいたします。

〔報告事項（１）～（６）の報告〕

関野委員：資料１１の２ページ、【利用定員減少園（新規）】のＮｏ１「こうりん保育園」について、１次募集結果を見ると、２歳児は１４人入ることになると思いますが、３歳児の定員は１３人なので、３歳持ち上がりが１人できなくなってしまいます。この点について市の方できちんと対応を考えられているのか、来年３歳児の利用定員を１４に変更することが可能なのかが気になりましたので、教えてください。

子育て推進課長：現況には合っていませんが、細かな認可上の確認をすると収まってはいるので、使い方の問題という面もあります。ただ、東京都の指摘で、現況の使い方に合わせた認可変更をするようになっておりますので、改善の流れとしても、３年後を目途に認可変更をしていく中での経過措置としております。来年はこのまま１４でいくか､途中で転園等も入るかもしれませんが､最終的には収まるような形で、経過措置としての来年度の利用定員の設定となります。

関野委員：認可定員を変更していなかったので気になりましたが、入所したお子さんやご家庭が不利にならないような対応をしていただければ良いと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

菅野副会長：資料１４の２０２５年度のスケジュールについて、先程の質問の回答では、今までと同じような評価方法をすると理解しましたが、報告では評価方法を検討するような説明だったので、新しい評価方法を考えるのか、それとも、今までのやり方でやるのかをもう一度確認させてください。

子ども総務課長：町田市としての子ども施策全体の評価をする中で、１つは今までと同じような「町田市子どもマスタープラン」にある各取組の評価をいたします。これは目標に対してどこまで到達したかという評価でございます。一方で、町田市では、子どもにやさしいまちづくり事業（ＣＦＣＩ）による評価も行っております。こちらも子ども･子育て会議で報告させていただいておりますが、ＣＦＣＩの項目と「町

田市子どもマスタープラン」の評価を合わせた形で、今の水準がどの程度かということを出すのが新しい評価でございます。今はそのような形を考えていますが、実際にやる、２０２５年度の子ども・子育て会議では委員の皆様からもご意見をいただきながら行っていきたいと考えております。

５　その他

子ども総務課長：４月に町田市長から子ども・子育て会議会長に行った諮問書の中に、「児童の保育に関し、保護者が負担する保育料及び育成料のあり方について」というものがございます。こちらを保育料のあり方検討を中止したことに伴い、修正いたしました。表面では「保育料及び」の５文字を削除、裏面では「諮問の趣旨」にある「保育料及び」の５文字と、保育料のあり方検討部会と保育料の検討に関わる部分について削除し、計２５文字を削除しております。そのような修正をしていることをご報告させていただきます。

鈴木会長：本日が今年度最後の子ども・子育て会議となりますので、今年度１回目の会議で市長から諮問をいただきました事項について、答申をしたいと思います。

現在、町田市子ども・子育て会議への諮問事項は３件あり、答申については次のような方針を考えております。

１件目、２０２３年度からの審議事項である、「（仮称）町田市子どもマスタープラン２５－３４」及び前期行動計画「（仮称）子どもにやさしいまち計画２５－２９」の作成に関することについては、最終調整後、日を改めて市長に答申いたします。

２件目、２０２４年度の審議事項である、「児童の保育に関し保護者が負担する育成料のあり方」については、１件目と同様に最終調整後、日を改めて市長に答申いたします。

３件目、２０２４年度の審議事項である、「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」及び「第２期町田市子ども・子育て支援事業計画」の進捗評価に関することについては、本日、答申をしたいと思います。

〔鈴木会長から子ども生活部長へ答申〕

鈴木会長：今年度１年間、つたない司会をさせていただきましたが、無事に答申をお渡しすることができました。このように多職種の方にお集まりいただいて、色々な話が聞けたのは、とても貴重な機会だったと思っております。今後も様々なお立場から

の発言を伺いながら、次年度以降、この計画がしっかりと市に根付くように進めていけたらと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。それでは、進行を事務局へお返しいたします。

６　閉会

子ども総務課企画総務係長：鈴木会長、ありがとうございました。本日の会議で、今年度の会議は全て終了となりました。皆様におかれましては大変お忙しい中、会議にご出席いただき、ありがとうございました。今期委員の任期は、来年度までとなっていますので、引き続きよろしくお願いいたします。次回の会議は５月下旬を予定しております。日程は決まり次第、お知らせをさせていただきます。

以上をもちまして、２０２４年度　第６回　町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。ありがとうございました。